

新庁舎建設事業

アナ： 「市長が語る 2020 三島」第 19 回の今日は、当初の予定を変更し「新庁舎建設事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 現在の三島市役所は、手続きごとに庁舎が分散しており、他の市町の庁舎と比べかなり古い建物だなという印象がありますが、そろそろ建て替えの時期を迎えているのでしょうか。

市長： 現在の市庁舎は、本庁舎、中央町別館、大社町別館などに分散されており、1か所で用事が完結しない、駐車場が狭いなどの利便性の問題や、狭隘な執務環境と施設の老朽化、ユニバーサルデザインへの一部未対応など、来庁者に、より質の高いサービスを提供するためには様々な課題を抱えております。

老朽化という点ですが、本庁舎と中央町別館は、昭和 34 年から昭和 35 年にかけて建築したものであり、建築してからおよそ 60 年が経過しております。

アナ： 相当長く使用しているようですね。市役所は、大地震など大規模災害時に災害対策本部が設置されるなど、市民の皆様様の生命や財産、生活を守る重要な施設だと思います。老朽化していても大丈夫なのでしょうか。

市長： 災害時の拠点となる災害対策本部室を設置している、大社町別館は、平成 8 年に建築し、十分な耐震性能を備えております。また、市役所の本庁舎については平成 18 年に、中央町別館は平成 23 年に耐震補強工事をそれぞれ行い、静岡県耐震基準の性能ランクでは、共に最高ランクの「I a（イチ エイ）」となっておりますので、こちらも十分な耐震性能を備えております。

しかしながら、庁舎が3つに分散していることで、市民の皆様に対し、ご不便をおかけしていることや、本庁舎内では災害時に職員が一同に参集するスペースを確保できないため、災害対策本部室を大社町別館に設置していることなど、市民サービスや災害対応の面で十分とは言えない状態にあります。そこで、3つの庁舎を一箇所に統合・集約することや市役所に足を運ばなくても用事が済むような方策を考えなければならないと思っております。

アナ： そのような庁舎の課題を解決する取り組みとして、現在、どのようなことをされているのでしょうか。

市長： 昨年 11 月に無作為に抽出した市民 2,000 人を対象に、「市庁舎に関する市民アンケート」を行ったところ 1,308 人の方から回答をいただきました。

回答率は 65.4%であり、の方からご回答いただき、庁舎が抱える課題に関して市民の皆様様の関心が非常に高いことがわかりました。このアンケートで「今後の庁舎のあり方に関する考え方」を伺ったところ、「できるだけ早期に、一箇所に

統合した上で建替えした方が良い」との回答が64.4%でした。

また、ご回答いただいた市民の中からワークショップ形式で行う「庁舎のあり方を考える市民会議」への参加者を募集したところ、53人の方から参加希望があり、2月1日に第1回目を開催したところでございます。

アナ： 「庁舎のあり方を考える市民会議」では、どのようなことをテーマにしていくのでしょうか。

市長： この会議では市庁舎建設に関するこれまでの考えを一旦白紙に戻し、ゼロの状態から市民のご意見を伺うということでスタートしており、第1回目の会議では、庁舎見学などを通して現状を確認した上で、庁舎の抱える課題について ご意見をいただきました。

第2回目以降のテーマにつきましては、「現在の庁舎を改修してできるだけ長寿命化した方が良いのか」又は「長寿命化せずに建替した方が良いのか」などをテーマとして全5回の開催を計画しております。

最終的には市民の皆様が考える庁舎の整備方法について取りまとめてまいりたいと思います。

なお、2回目以降の市民会議につきましては、新型コロナウイルス感染症対策もあり、10月上旬からの開催を予定しております。

アナ： 市民会議では、将来の三島市の発展につながるような貴重なご意見をいただけるといいですね。

市長： はい、いただいたご意見につきましては、今後、策定いたします庁舎建設の基本構想や基本計画にできる限り反映させ、将来にわたり持続的に発展し続ける三島のまちづくりの実現に役立ててまいりたいと考えております。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。